＜山家さん、今どこやってんの？＞

建前の時は少し気が立っている山家さんです(*_*;

＊亘理町・M様＊

建て方がはじまりました♪
あっ！丸柱発見！！

「ホゾ穴ずれてっぞー、
早ぐいれろ～」 by山家

「次はほ通りいくぞー！」
by山家

にこにこ山家、亘理に参上！

2階屋直し完了。
「次、母屋いくよ～」by山家

※屋直しとは、
屋起こしと下げ振りを使って
柱の垂直方向の傾きを直す作業

＊柴田町・M様＊

キレイに生まれ変わりました♪

お風呂時間が
楽しめそうですね☆

＊大河原町・I様＊

新築完成☆おめでとう
ございます(^^♪

これからも末永く
宜しくお願いいたします

見学会時には大変
お世話になりましてありがとうございました。

あとがき＊　みなさんこんにちは。コロナウィルス感染症が５類扱いになり、以前のようにママ友から、ランチのお誘いが来るようになりました(^^♪お友達とのランチタイムにわくわくです！！ランチをしながらの話題といえば、今は子供の進路のことに関してが多いですね(*^^*)悩みなんてなさそうなママであっても、いろんなことがあるんだなあとつくづく実感。子育ては、本当に奥が深いですね。うちも高校卒業後の行き先を模索中です。子供から大人への手続きも案外忙しいです。

ブログ（現場日誌）も見てね♪

山家工務店の

ゆったり時間＊まったり時間

＊　by もくもく通信

2023. 7　おりひめ号

HPへ

株式会社 山家工務店
代表取締役　山家英富
〒989-1221 宮城県柴田郡大河原町字緑町 2-3
☎0224-52-6680
090-4889-3364
e-mail: yanbe@star.ocn.ne.jp
https://yanbekoumuten.com

倒年通り梅雨入りしましたが、晴れの日が多くてうれしい山家です。(^▽^)/　この時期は配達日をいつにするか、現場の進捗と天気予報毎日にらめっこが続きます。(^^;　晴れが多いと助かります。

先日「ドラゴンアイ」を見に行ってきました。目指すは岩手、秋田両県にまたがる標高 1613 メートルの八幡平。朝 9 時松尾八幡平インターを降りるとき、天候晴れ気味のくもり気温20℃、駐車場に着くと視界数メートル、ガスと強風で気温 11℃寒ーい！😰　やっぱり山は侮れません。目的地「八幡平ドラゴンアイ」は駐車場から10分程、あっという間に着いちゃいました。しか～しガスで肝心のドラゴンアイがはっきり見えず、あきらめて八幡平トレッキングに向かいました。辺りは残雪が結構あり、雪解け水に水芭蕉や小さい桜が咲いて心が洗われるような光景でした。2時間ほどトレッキングしていたら晴れてきて駐車場が見えてきました。登ってくる車の渋滞がすごいことになっており、あきらめて帰る車もあるほどでした。天候が良くなってきたので再びドラゴンアイへチャレンジ！今度はきれいに見えました。ヤッホー(ノ^▽^)ノ

この頃また訪問業者の営業攻勢が始まっています。「屋根が壊れているから早く直さないと雨漏りするって今来ているんです」という連絡がありました。屋根やさんに確認してもらいましたが、問題ありませんでした。引っ掛からないように注意してください。

去年のように空梅雨と見せかけて終盤の長雨にならないように祈りつつ、今月も張り切っていきましょう！

※ドラゴンアイとは
八幡平の山頂付近にある「鏡沼」が雪解け時に見せる姿の別名です。冬のあいだ雪にうもれていた鏡沼に雪解け水が流れ込んで、沼の縁から次第に湖面が現れてくるため、やがて中央部に雪の島がぽっかり残った状態になります。この姿がまるで「龍の眼」のように見えることから「ドラゴンアイ」と呼ばれるようになりました。八幡平には多くの沼がありますが、このように「ドラゴンアイ」が現れるのは鏡沼のみだと言われています。

クマザサの花が咲いていました。この後、やっぱり枯れるのでしょうか？

雪解け水に水芭蕉が映えます。

八幡平ドラゴンアイ☆
今年はきれいにできたようです。

ガスがかかっていました。

お客様感謝イベント☆いちご狩り🍓2023(*^^*)

今年は少し早めの６月のはじめの日曜日に、お客様感謝イベント☆第二弾！恒例となりました、いちご狩りが行われました(^^♪

山家工務店のお客様であるいちご農家さんのご厚意により、今年もいちご狩りを開催することができました☆ありがとうございました🍓

今年は、昨年よりも多いお客さまと会長の富吉さんも初参加でした♪広～いハウスの中で、それぞれにいちご狩りを楽しんでいただきました！

今年も青空がさわやかな日曜日でした☆

広～い！ハウスで
夢中になれるひとときっ

大きいね♪

いちごやさん♪

山家さん
見て～～～♪

たくさん
収穫しました～♪

楽しんでもらえてよかったです☆

今年は、いちごの成長のタイミングが合わず、みなさんの収穫がいつもより少なめでしたが、「おいしそうに赤くなったいちごを探そう！」と、それもまた楽しかったと言ってもらえて良かったです(^^♪

ご参加ありがとうございました！！

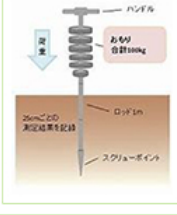
＜家はどうやってつくられるのかな？＞　地盤調査編　その1

いくら家を丈夫に造っても、地盤のことをおざなりにしてしまうと、砂上の楼閣ですね。家を建てるうえで、地盤調査は、とても大切な工程の一つです。

地盤調査の方法もいろいろありますが、スクリュードライバー・サウンディング試験通称 SWS（旧スウェーデン式サウンディング試験）が一般的です。山家工務店では SWS 試験に高精度な土質分析をプラスした SDS 試験を採用しています。この調査はウエイト(100kg)を載せたスクリューポイントと呼ばれる槍みたいなものを回転させ、地面に突き刺し、回った数で地盤の強度がわかります。柔らかい場合は、ウエイトを載せただけで沈み、抵抗がありません。硬い地盤の場合は、抵抗があるため回転数が多くなります。

SDS 試験のいいところは、

1. 標準貫入試験（ボーリング調査）並みの精度で土質の判定ができる
2. SWS 試験ではわからない加圧密粘性土を判定できる
3. 表層盛土を貫入し摩擦の影響をなくすことで地盤を正確に把握できる
4. 腐植土の判定ができ、地盤沈下のリスクを正確に把握できる
5. 土質判定により「液状化判定」ができる



住宅に求められている地盤強度は基礎形状によっても違ってきますが、一般的なべた基礎の場合 20kN/㎡以上必要とされています。それ以下の場合は直接基礎ではなく地盤改良工事が必要になります。調査機械は手動式、半自動式（回転のみ機械で行う）、全自動式があり、全自動式は 1m 毎にロッドの継ぎ足しを作業員が行う以外は自動で計測してくれます。この自動が曲者で実際の強度より弱く出ることがあります。

結果、本当は必要がない地盤改良が必要となってしまうことがあるそうです。そこで山家工務店では作業員が土質を感じながら調査を行う、半自動式を採用しています。

SWS 試験

必要のない地盤改良にならないように、山家さんが、いつも心がけていることがあるそうです。　　続きは、来月号へ

＊山家工務店からのお知らせ＊

■ニュースレター、私の宝物や覚悟のストーリーのご感想をお待ちしております。
励みになりますので、お便りをいただけるとありがたいです。(*^^*)

■山家さんがどんな家を造っているのか、友人に見せたいんだけどなぁ。という方、
絶賛募集中です！！(^^)v